

シートベルト打撲に着目し眩暈を解消した症例

頸部刺絡では改善が見られなかった一例

積聚太郎

【目的】

積聚治療では病因として、交通事故による頸椎捻挫を重視する。しかし、交通事故後の眩暈を訴える患者に対して、頸椎捻挫に刺絡を行っても改善しない例を経験した。そこでシートベルトによる圧迫に着目し左の GB24 に刺絡を行ったところ、即座に症状の解消をみたので報告する。

【症例】

患者

43 歳女性、小学校教員、初診日 2014 年 10 月 6 日。

主訴

動くと頭がクルクルする眩暈。吐き気・嘔吐。

現病歴

2015 年 8 月 26 日：フェンスに車をぶつける物損事故。直後には不調はなかった。

8 月 29 日：起床時に回転性の眩暈。以降は動くと眩暈が起き、段々と悪化する。

9 月 2 日：眩暈によって嘔吐。嘔吐は 1 回だが吐き気は続く。

9 月 3 日：来院（本報告では便宜上 1 診目とする）。

既往歴・社会歴

12 歳：虫垂炎手術

中学生～高校生：陸上部（長距離走）

16 歳頃：ストレス性胃炎が習慣化

22 歳：小学校に赴任

29 歳：結婚

33 歳：出産（逆子で帝王切開）

42 歳：胃炎を主訴として来院

家族歴

父親（68）が高血圧で通院・服薬中

【結果】

1 診目（2015年9月3日）

切診：両側の SCM・Mb・BL39、CC3 に圧痛

脈診・脈調整：60 回／分。LU・SP-2 のため右 LU9 に施鍼。

腹部・背部：脾虚証（P：10+3）のため、左 2 行線に第 4 方式で施鍼。

補助治療：CC3 に刺絡。

経過：眩暈に変化なし。

2 診目（2015年9月14日）

問診：眩暈は頻度・強度ともに変わらず。吐き気・嘔吐はなし。事故後から左の胸膈下部に痛みがあることを思い出した。

切診：両側の SCM・Mb・BL39 に圧痛

脈診・脈調整：64 回／分。LU・SP-2 のため右 LU9 に施鍼。

腹部・背部：脾虚証（P：10+3）のため、左 2 行線に第 4 方式で施鍼。

補助治療：左 GB24 周辺の最も圧痛の強い箇所（第 7 肋骨）に刺絡。

経過：眩暈・吐き気の再発なし。受療後 2 日間は全身が筋肉痛のようだった。

【考察】

この症例では、眩暈の発症が物損事故の数日後であるため、事故がこの症状の病因となっていると推測できる。しかし、頸椎捻挫への刺絡のみでは症状の改善には不十分であった。そこで左の GB24 の圧痛への刺絡を行うことで症状の解消をみることにできた。このことから、左の GB24 への刺絡が症状解消に関与した可能性が高い。

GB24 は、例えば「太息善悲、少腹有熱、欲走、日月主之」『鍼灸甲乙経』などの記載が古典にはあるが、眩暈と関連付けるものは見つけることはできなかった。胆経としてみると流注が耳中を通る。しかし、胆経の病象を示す所見がないため、眩暈が胆経の異状に由来し、それを GB24 で是正したという可能性も低い。また、解剖学の観点からすると GB24 が関わるのは肋間神経であり、肋間神経への刺激が眩暈に直接作用することはない。つまり、GB24 の経穴・経絡の性質が眩暈に影響したとは考えがたい。

左の GB24 付近は、運転席に座っているとシートベルトが当たる位置でもある。自

覚痛・圧痛が事故後から生じていることから、物損事故の際にシートベルトによる圧迫による打撲と推測することができた。だからこそ外傷への処置を行うことで、眩暈を引き起こす病因を解消し、症状が消失したのだと考えられる。

【結語】

本例に限らず、交通事故による頸椎捻挫への刺絡を行っても、症状が解消できない例は多数経験できる。その際にシートベルトによる圧迫を考慮に入れることも、交通事故による症状へのアプローチとして有効なのではないだろうか。

【キーワード】

交通事故、外傷、眩暈

8月25日 (21回)				9月3日 (22回)				9月14日 (23回)				9月19日 (24回)			
(976 hPa)(94%)(25℃)(W: R)				(996 hPa)(94%)(23℃)(W: R)				(1010 hPa)(88%)(25℃)(W: F)				(1006 hPa)(57%)(32℃)(W: F)			
病状 SS・㊟・G・T 前日から胃が動いてない感じ 両足にむくみと冷え もうすぐ生理でイライラ				病状 SS・㊟・G・T 8/26 物損事故 不調なし 8/29~ 起床時めまいクルクル 以降動くともめまい 段々ひどくなる 9/2 吐き気→吐く (1回)				病状 SS・㊟・G・T めまい 変わらず 吐き気・嘔吐はなかった				病状 SS・㊟・G・T めまい・吐き気なし 前回後2日間は全身が筋肉痛 のようだった			
脈状 不整脈(/)				脈状 不整脈(/)				脈状 不整脈(/)				脈状 不整脈(/)			
取穴 R・LU9		60 回/m		取穴 R・LU9		60 回/m		取穴 R・LU9		64 回/m		取穴 R・LU9		56 回/m	
+3		-1		+3		-1		+3		-1		+3		-1	
+2		-2	LU・SP	+2		-2	LU・SP	+2		-2	LU・SP	+2		-2	LU・SP
+1		-3		+1		-3		+1		-3		+1		-3	
P	15+3 0	メモ		P	10+3 1	メモ	生理5日目 量が多い	P	10+3 0	メモ		P	10+1 0	メモ	
	10+1 0														
H				H				H				H			
M				M				M				M			
(HT 証) ㊟・R (1式)				(SP 証) ㊟・R (4式)				(SP 証) ㊟・R (4式)				(SP 証) ㊟・R (4式)			
O	3 2 1 5	52	L R	O	3 5 4 2	52	L R	O	3 5 4 2	52	L R	O	3 5 4 2	52	L R
I		P	1 2	I		P	1 2	I		P	1 2	I		P	0 1
J		H		J		H		J		H		J		H	
G				G				G				G	3 5 4 2 (CK2)		
L				L				L	GB24			L			
R	SCP		GB21	R			GB21	R			GB21	R	Mb		GB21
B・M	SP9、BL39			B・M	SCM、Mb、CC3、BL39			B・M	SCM、Mb、BL39			B・M	SP9、BL39		
L			GB21	L			GB21	L	GB24 (BL)		GB21	L			GB21
R				R				R				R			
B・M	CV8 (CK3)			B・M	CC3 (BL)			B・M				B・M			